

活用しよう! 『希望対話』日めくりカレンダー

私たち中等部員の必読の書『希望対話』。日ごろから池田先生の指導に触れて、元気で力強い毎日を過ごしていきたいものです。

さらに、来年より成長の1年間にしたいから、中文では「希望対話」日めくりカレンダーを作製しました。

勉強机や寝机、または携帯するなど、活用してください。

手順は次の通りです。

(1) キリトリ線に沿って切り取り、日付順にします。

(2) カードリングに取り付け、「希望対話」日めくりカレンダーをセットします。

(3) 机の上など、よく見えるところに置き、毎日の指針として活用しよう!

希望対話

日めくりカレンダー

HIMEKURI CALENDAR

13日

クラブも勉強も、両方をやりきった人は、苦しんだ分だけ、深い、広い、味のある青春になっていく。そして、後輩にも、「やればできるんだ」という希望を贈ってあげるはずだ。(124ページ)

7日

「成長」のときだからこそ、いっぱい「悩み」があるのです。走れば「風」が起る。山に登れば息がきれる。それと同じで、成長しているから「悩み」がある。「希望」と「悩み」との戦いが青春時代です。(26ページ)

1日

みんなが、違って、みんなが何かの「天才」なんです。それを「使命」という。だれもが自分だけの、自分にしかできない使命をもっている。使命があるから生まれてきたのです。(32ページ)

14日

勉強も、頭のよし悪しなうて、みんな、ほとんど変わらない。違いが出るのは、「自分との戦い」に勝つかどうかです。偉い人は、陰で必死になって努力しているものだ。(125ページ)

8日

自分の欠点に、くよくよするひまがあったら、「自分にできることの全部」を実行してみるのだ。それをした人が本当の「勝利者」です。その人には、もはや劣等感もなければ優越感もない。(67ページ)

2日

もっている力を出しきる「くせ」をつけられれば、どんどん「力」が出てくるのです。そういう「くせ」をつけられれば、自分の「使命」も、やがてわかってくる。(41ページ)

15日

何だって、「とても無理だ」と、あきらめたら、その瞬間に「試合終了」です。苦しくとも、やりきった人は、思いもよらない「力」が出る。そして、後から振り返って、そのときがいちばん懐かしく、すばらしい思い出に変わるのです。(126ページ)

9日

努力すればするほど、夢は大きくなっていく。「夢」という生きものは、「努力」という食べ物食べて大きくなるのです。「夢」という宮殿は、「努力」という地道な石を重ねて、できあがっていくのです。(79ページ)

3日

「他人に勝つ」ことよりも、「今までの自分に勝つ」。それでいいのです。「きのうの自分」よりも、きょうは一步、前へ進んだ。「きょうの自分」よりも、あすは、これだけがんばろう。そういう一日一日であってほしいのです。(42ページ)

16日

今、みなさんが悩んでいることは、将来、そういう世界の人たちといっしょに生きていくためにも必要なことなんです。すばらしいチャンスなんです。(130ページ)

10日

あなたが歩いた、その道が、あなたの「進路」になるんです。あなたが選んだ、その生き方が、あなたの「将来」を決めるんです。だれが決めるものでもない。だれのせいでもない。全部、あなたの人生です。(90ページ)

4日

友人というのは、あなたを映す「鏡」です。あなたが声をかければ、相手から声が返ってくる。そのときは、すぐに仲良くはなれなくても、あなたの誠実さが、相手の命に、鏡のように映るのです。(48ページ)

17日

今、「自分には何も無い」と悩んでいる人も、いるかもしれない。しかし今、どんな状況にあろうとも、あなたには「生命」がある。「生命」の力は、無限です。(139ページ)

11日

今の自分自身のなすべきことに挑戦することです。今の課題から逃げてはいけません。その「挑戦」と「努力」のなかに、「強さ」は自然とつくられていく。(117ページ)

5日

勇気は「出す」ものだ。だれの心にも勇気は「ある」。しまいこんで「出さないでいる」だけです。唱題すれば、必ず勇気は出る。(49ページ)

18日

自分の経験だけだと「一人分の人生」だが、本を読むことで、無数の人の経験や知識や、ドラマを学ぶことができる。一生の「心の友だち」もできる。もう死んでしまった大偉人や大文豪と「会話」もできる。(147ページ)

12日

何かに「燃える」ことは、いいことだ。「自分は、これを、やるんだ!」と、自分で決めて、それを、やり通してみるのだ。そうすれば、「自分は、やりきったんだ」という自信ができる。(121ページ)

6日

違う性格の人、考え方が違う人、いろんな人がいる。だから悩み。悩んだときには、「今、自分は『人生の勉強』をしているのだ」と思えばいい。成績を上げるだけが勉強ではありません。(54ページ)